

『紡ぐ』

2020.10.1 第11号

発行 教育相談室「あした塾」



ふるさと 残したい 寂しい 帰りたい

以前、能登町の友人が帰
りやすい、次のような文面がありが
たかった。「昨年、小中学校時代の同窓会（古縁の会）
を開催しました。東京でタクシー会社を経営してい
て、昨年リターンしてきた同級生が、帰郷した
が『東京には何もなかったが、何もな
かった。能登には何もなかったが、全てがある。』
とスピーチをした。深い感動を受けました。」と。
この便りを見て、人にとって何が必要で、何が大切

なのかと考えるさせられました。そして、私たちが生きてきた原点である故郷（ふるさと）をあらためて考えることになりました。新型コロナウイルス禍の中、「新しい生活様式」という言葉が
使われています。これからの時代、大きな変化が起きるかも知れません。高齢化、人口減、過疎化が進行している町で、町の財産を生かす町づくり、子や孫に残したい所、住みたい所、帰りたい所、そんな故郷としての町づくりを本気で、皆さんで考えていきませんか？ (T)

投稿

穴水町 榎
室木正武

「毎回興味深い記事、感心しながら読んでいます。近作と
二首、投稿いたします。」と投稿していただきました。

今の世の中居る景観は

入江さわだち青山揺れる

やがて五時能登空港発終便の

離陸の音は森に響く



すかり秋

季節はすかり秋。あんなに暑かった
のに、特に朝晩は寒さを感じるよ
うになり、日もずいぶん短くなって
います。体調管理に気をつけましょ
う。新型コロナウイルスの感染も心配
です。みなさんと一緒に感染対策
をしっかりしていきたいです。

「おっ!」

朝、網屋に置いてあ
ったダンボール箱を見て
ビックリ! 暑さ寒さに
敏感なネコ。これも秋。

イノシシとね、遭
遇が心配です。柿、栗、キノコを採
りたいですね。



『紡ぐ』

2020.10.1 第11号

発行 教育相談室「あした塾」



ふるさと 残したい 寂しい 郷も 帰りたい

以前、能登町の友人がうら
いかに便利に、次のような文面がありが
たかった。「昨年、小中学校時代の同窓会（古縁の会）
を開催しました。東京でタクシー会社を経営してい
て、昨年リターンしてきた同級生が、喝（おど）め
がけで『東京には何もなかったが、何もな
かった。能登には何もなかったが、全てがある。』
とスピーチしました。深い感動を受けました。」と。
この便利を見て、人にとって何が必要で、何が大切

なのかと考えると考えさせられました。そして、私たちが生きてきた原点である故郷（ふるさと）をあらためて考えることになりました。新型コロナウイルス禍の中、「新しい生活様式」という言葉が
使われています。これからの時代、大きな変化が起きるかも知れません。高齢化、人口減、過疎化が進行している町で、町の財産を生かす町づくり、子や孫に残したい所、住みたい所、帰りたい所、そんな故郷としての町づくりを本気で、皆さんで考えていきませんか？ (T)

投稿

穴水町 榎
室木正武

「毎回興味深い記事、感心しながら読んでいます。近作と
二首、投稿いたします。」と投稿していただきました。

今の世の中居る景色は安定に

入江さめだち青山揺れる

やがて五時能登空港終便の

離陸の音は森に響く



すかり秋

季節はすっかり秋。あんなに暑かった
のに、特に朝晩は寒さを感じるよ
うになり、日もずいぶん短くなってき
ています。体調管理に気をつけましょ
う。新型コロナウイルスの感染も心配
です。みなさんと変わらず感染対策
をしっかりしていきましょう。

「おっ!」

朝、網屋に置いてあ
ったダンボール箱を見て
ビックリ! 暑さ寒さに
敏感なネコ。これも秋。

イノシシとね、遭
遇が心配です。柿、栗、キノコを採
りたいですね。

